

令和7年度 第4回総合計画審議会 会議記録

■開催概要

- 1 日時 令和7年12月10日（水）午後3時～午後4時10分
- 2 場所 第2委員会室
- 3 委員の出欠状況 19名中17名
- 4 事務局職員
小野企画経営部長、鈴木企画課長、阿部企画課課長補佐、新沼副主幹、近藤主査

■会長あいさつ

▽先日、青森県で大きな地震があったが、東日本大震災から14年経過している。当時、中心となって動いてくれた地域の方々が動けなくなっている可能性もある。そういったことも含めて、総合計画では次の次を考えていかなければならないため、忌憚のない意見を頂戴したい。

■議事事項概要及び結果

会長により、以下のとおり議事進行

議事(1) 後期基本計画最終案について

事務局（企画課課長補佐）から、資料に基づき説明。

意見交換

▽施策3-3の施策を取り巻く状況に、「SNSなどの普及により～」という記載があるが、SNSはコミュニケーションツールであることから、学ぶ選択肢としては「ソーシャルメディア」という表現が良いと思う。（委員）

→（企画経営部長）そのように修正する。

▽意見募集で寄せられた意見の中に、障害児の保護者同士で意見交換できる場があると良いという意見がある。多賀城市手をつなぐ育成会という組織があり、障害を持つ本人や家族の集まりを定期的に開催したり、相談支援をしたりしているため、そういった組織があることを知ってもらいたい。（委員）

▽施策2-4で健康寿命が指標となっているが、貢献寿命という言葉を知った。高齢になっても、ボランティア活動や民生委員、町内会活動などの社会的な活動に貢献し、社会的な繋がりを持つことが望まれている。（委員）

→（企画経営部長）庁内でも共有したい。

▽基本事業2-4-1の基準値が高い。ここでは、社会活動に参加している高齢者の割合を指標としているが、現状としては、老人クラブの数は減り、若い人は入って来ないため、同じ方がいろいろ兼務している状態。（委員）

▽意見募集で寄せられた意見の中に、子どもの遊び場についての意見がある。ここでは、室内の広い遊び場を想定して意見が出ていると思うが、担当課としては今ある施設を活用してほしいと言っている。（委員）

→（企画経営部長）総合体育館及び市民プールの移転構想では、これから基本計画を作っていくが、スポーツを通しながら、幅広い年代に使っていただけるよう、庁内でもプロジェクトチームを作って検討している。その検討の中では、子どもの遊び場・居場所機能について特に重視して検討することとしている。

- （会長）ヨーロッパでも、多世代交流が地域づくりの成功事例としてポイントとなっている。
- ▽施策3-5で「市の歴史と文化に誇りを感じる市民割合」が指標となっているが、何を基準に誇りを感じるのか、明確にしたほうが市民にも分かりやすいのではないか。（委員）
- （企画経営部長）価値観の持ち方がみんな異なるため、画一的には言えないが、何を誇りとするか、市として、こういうまちづくりに取り組んで、未来を創造するためと明快にお示しできれば、市民にも分かりやすいものとなるかもしれない。
- ▽施策5-2の施策を取り巻く状況の5つ目の項目で、物価の上昇、DX、労働力、後継者不足を経営課題として挙げているが、問題なのか課題なのか、レベル感にばらつきがある。（委員）
- ▽施策4-4に「都市インフラの保全に満足している市民割合」のグラフを掲載しているが、「普通」と回答したものも含めて「満足」として良いのか疑問である。（委員）
- （会長）「普通」は「不満を持っていない」ということで、経営課題として捉えると、「普通」と回答したものも含めて良いと考える。
- ▽施策1-1に消防団員数のグラフが掲載されているが、消防団員についての記載が何もない。（委員）
- （企画経営部長）記載について、担当課と調整する。
- ▽施策5-1で、「担い手」という表記があるが、「担い手」の定義が分からない。（委員）
- （企画経営部長）事務事業においては、定義がはっきりしている。
- ▽基本事業3-2-5で、「ICTを活用し～」とあるが、担当する教員によって、かなりの差があると感じている。教員の足並みがそろっていないと感じるため、教育現場側の指標もあると良い。（委員）
- （企画経営部長）学校でもそういった現状は把握している。教員の育成については県の管轄となるが、市としては、ICT支援員を増やしていく予定である。
- ▽施策2-1に地域カルテの画像が掲載されているが、地域カルテについての説明がないので、どこで見られるのかなどの情報を記載できると良い。（委員）
- （企画経営部長）担当課と調整する。
- ▽施策6-1及び6-2に「NPO」について用語解説があるが、NPOは非営利組織や非営利団体という意味であるため、「NPO＝特定非営利活動法人」ではない。（委員）
- （企画経営部長）記載を改める。
- ▽施策5-3の指標「観光客入込数」の目標値が高すぎると思うが、いかがか。（委員）
- （企画経営部長）令和7年度から、市立図書館を含めた多賀城駅北ビルA棟が観光地点の一つとして整理されたことから、令和6年度の基準値と比較して目標値が高くなっている。
- ▽施策6-1の施策を取り巻く状況の4つ目の項目に、「市と地域との滞りない連絡調整」と記載があるが、「地域」ではなく「自治会・町内会」と具体的に記載しないと言葉足らずだと考える。（委員）
- （企画経営部長）記載について、担当課と調整する。
- ▽施策2-3の施策を取り巻く状況の3つ目の項目に、放課後児童クラブについて記載があるが、「放課後の安全・安心な居場所を提供」となっているが、その実現のために、ICT化や感染症等による臨時休校の際の対応、支援児の受入など、実態について、もう少し記載してはいかがか。（委員）
- （企画経営部長）担当課に実態を確認したうえで検討する。

議事(2) 地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略について

事務局（企画課課長補佐）から、資料に基づき説明。

意見交換

▽計画のボリューム感はどの程度で、市からの案内によって会議開催はあるのか。また、今年度、国勢調査があったが、その速報値は将来人口推計等に反映されるのか。（会長）

→（企画課課長補佐）総合戦略は総合計画の別冊のような形で示す予定で、総合計画の指標を用いる。ボリューム感は10～20ページ程度となる見込である。文書で御案内し、意見があれば返信をいただくこととし、会議開催による参集は予定していない。国勢調査の速報値については、まだ国から公表されていないため、次回の計画に反映することとなる。

■事務局からの連絡

▽令和7年度第5回開催は、令和7年12月19日を予定。審議会から市長へ答申する。答申書作成のため、期日までに意見書の提出をお願いします。

以上